

令和2年度事業報告

1 事業の成果

(1) 助産所事業

新型コロナの影響だと思われませんが、外来保健指導の受診者数はかなり減りました。お産も秋から冬にかけて予約が激減して心配しましたが、春先に持ち直し、全体としては昨年度より少し増える結果となりました。

(2) 産前・産後支援事業

千葉市の委託による産後ケア事業で、引き続き産後訪問、および産後入院を行いました。昨年度と比較して訪問数は1割ほど増えましたが、逆に入院は減りました。

(3) 出産育児、教育、食、健康に関する情報・サービスの提供事業

引き続きホームページ、ブログ、フェイスブック等を使って情報の発信を行いました。また登録されている方に、イベントのお知らせのメールマガジンを月に1回のペースで配信しました。会報は年6回奇数月に発行しました。また Zoom によるオンライン相談も始めました。

(4) 出産育児、教育、食、健康に関する書籍、物品、食品等の販売事業

玄米発酵食品や健康寝具等の販売を行いました。来所者が激減したため売上高は大きく減りましたが、紹介販売による紹介料や販売店の育成等により、収益を維持することができました。

(5) 市民が集い交流する場の提供、および飲食物の提供事業

11月にいいお産の日のイベントを行い、たくさんの方にご参加いただきましたが、それ以外はほとんど活動ができませんでした。

(6) イベント・講座の開催および講師の派遣事業

前半はほとんど講座の開催はできませんでした。後半は千葉市の習いごと応援キャンペーンに事業者登録して講座、習い事を企画・開催しました。ただ公民館を利用する開催では、定員が通常の半分とされ、また飲食が禁止となったため、内容を変更せざるを得ませんでした。

- ・ 千葉市習いごと応援キャンペーンに登録した味噌作り体験講座、発酵食品入門講座、レイキセミナーで延べ50人の参加がありました。
- ・ 千葉市の公民館の委託事業で男性向け料理教室を開催しました。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
助産所事業	妊婦健診、分娩、各種保健指導	通年	若草助産院	14人	妊産婦および乳幼児、女性
産前・産後支援事業	千葉県産後ケア事業	通年	千葉市内	4人	産婦延べ86人
出産育児、教育、食、健康に関する情報・サービスの提供事業	ホームページ、SNS等による情報の提供	通年	事務所他	2人	-
出産育児、教育、食、健康に関する書籍、物品、食品等の販売事業	健康、および生活の向上に寄与する物品等の普及を図る	通年	若草助産院他	4人	-
市民が集い交流する場の提供、および飲食物の提供事業	いいお産の日のイベント	11/3	若草助産院	3人	一般20人
	イベント会場の提供	8回	若草助産院	1人	-
イベント・講座の開催および講師の派遣事業	学習会の開催	9回	若草助産院他	3人	一般14人
	料理教室の開催	10回	若草助産院、市内公共施設	3人	一般55人
	レイキセミナー	1月～3月	若草助産院	1人	一般3人
	講師の派遣	1回	子育て支援館	1人	-